



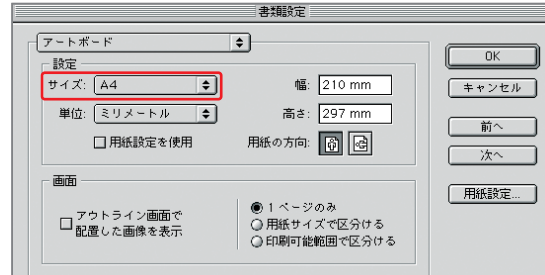
## Illustrator 9/10 アートボードサイズの変更について

IllustratorからPDF保存すると、【書類設定】→【アートボード】→【サイズ】で指定した大ききでPDFが作成されます。しかし、「A4」で印刷する場合、アートボードの大ききを「A4」にしてPDF保存すると、ヌリタシとトリムマークをPDFに反映させることができません。そこで、仕上がりサイズよりもアートボードサイズをひとまわり大ききしてPDFを作成します。

- ① Illustrator 9/10では、新規にドキュメントを作成すると、ドキュメントの大ききが「A4」サイズになります。大ききを変更するときは、【ファイル】→【書類設定】を開きます。



- ② 【アートボード】→【大きき】を変更します。仕上がりサイズよりもアートボードサイズをひとまわり大ききしてPDFを作成します。「A4」サイズが仕上がりの場合、【書類設定】のアートボードサイズを「B4」に変更します。



※また、作成したトリムマークがアートボードサイズ内に収まるようにします。トリムマークの外にあるオブジェクトや画像は削除するか、マスク処理してすべてのオブジェクトや画像をトリムマーク内にレイアウトします。

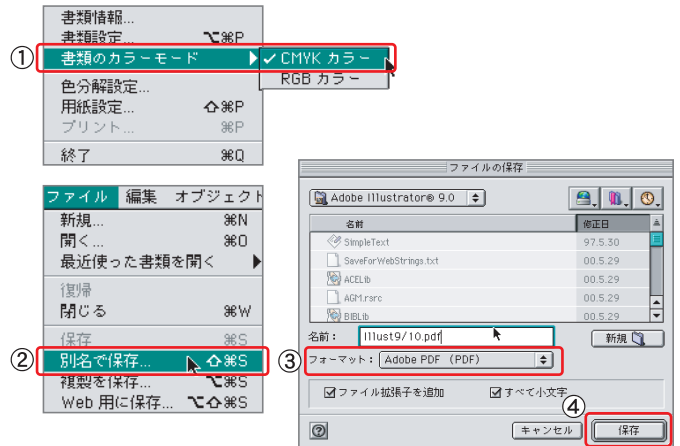
※また、名刺やハガキなどの「B6」以下の大ききは、「B5」サイズにアートボードサイズを変更して作成してください。正しく作成されていない場合は、再入稿していただくことがあります。

仕上がりサイズ	変更後のアートボードサイズ
B6 (128×182mm) 以下	→ B5 (182×257mm)
B5 (182×257mm)	→ A4 (210×297mm)
B4 (257×364mm)	→ A3 (297×420mm)
B3 (364×515mm)	→ A2 (420×594mm)
B2 (515×728mm)	→ A1 (594×841mm)
A5 (148×210mm)	→ B5 (182×257mm)
A4 (210×297mm)	→ B4 (257×364mm)
A3 (297×420mm)	→ B3 (364×515mm)
A2 (420×594mm)	→ B2 (515×728mm)
A1 (594×841mm)	→ B1 (728×1030mm)



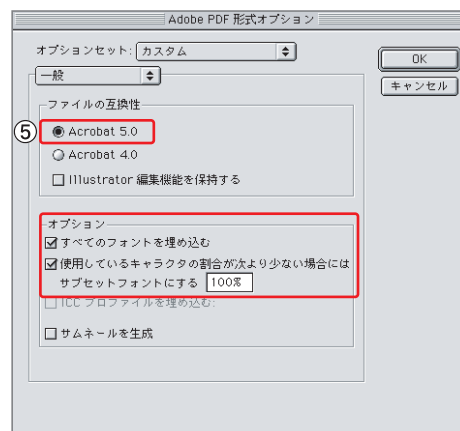
## 書類のカラーモードを確認

- ① 「ファイル」→「書類のカラーモード」→「**CMYKカラー**」を選択します。
- ② 「ファイル」→「別名で保存」を選択します。
- ③ 「フォーマット」で「**Acrobat PDF**」を選択します。  
※ファイル名は拡張子「.pdf」を付けてください。
- ④ 「保存」をクリックします。



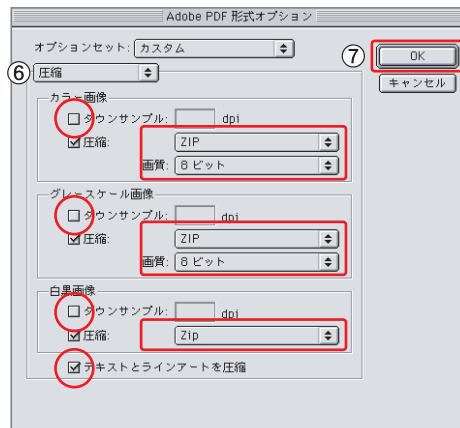
## ▶▶ 一般の項目

- ⑤ ●ファイルの互換性
  - ◎ **Acrobat 5.0**
  - ◎Illustrator編集機能を保持する：**チェックをつけない**
- オプション
  - ◎すべてのフォントを埋め込む：**チェックをつける**
  - ◎使用しているキャラクタの割合が次より少ない場合にはサブセットフォントにする：**チェックをつける**
  - ◎ICCプロファイルを埋め込む：**チェックをつけない**
  - ◎サムネールを作成：**チェックをつけない**



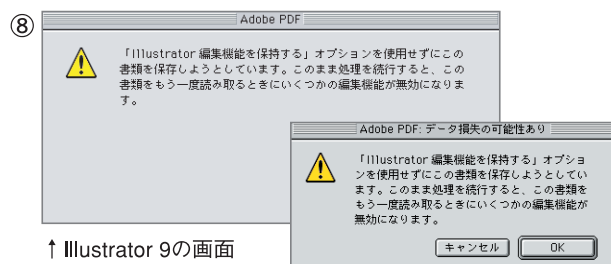
## ▶▶ 圧縮の項目

- ⑥ ●カラー画像
  - ◎ダウンサンプル：**チェックをつけない**
  - ◎圧縮：**ZIP**
  - ◎画質：**8ビット**
- グレースケール画像
  - ◎ダウンサンプル：**チェックをつけない**
  - ◎圧縮：**ZIP**
  - ◎画質：**8ビット**
- 白黒画像
  - ◎ダウンサンプル：**チェックをつけない**
  - ◎圧縮：**ZIP**
- ◎テキストとラインアートを圧縮：**チェックをつける**



- ⑦ 「OK」をクリックします。

- ⑧ 「OK」をクリックすると、『「Illustratorの編集機能を保持する」オプションを使用せずにこの書類を保存しようとしています。このまま処理を続行すると、この書類をもう一度読み取るときにいくつかの編集機能が無効になります。』という表示がでる場合がありますが、特に問題はありません。「OK」をクリックしてください。以上です。



↑ Illustrator 9の画面

↑ Illustrator10の画面